



健康なくに

編：ヘルスプロモーション研究センター，発行：医療文化社，TEL：03-3593-0038
定価：1995 円(本体 1900 円＋税 5%)

本書は保健師をはじめとした関係者が住民の方々とともに読む健康づくりの本です。住民の方と保健師さんの対談に始まり，格差社会における公衆衛生，医療崩壊，健康日本 21 の迷走といった，いま現場が直面している課題に応えつつ，誤解が蔓延しているポピュレーションアプローチや，いいとこ発見モデルなど，いま，現場に必要な視点や理論，方法論も網羅し，活動事例も紹介しています。「健康なくに」をつくるために，地域を「みる」「つなぐ」「動かす」あなたにとって，明日からおのずと元気が湧いて活動できる内容だと確信しています。(ヘルスプロモーション研究センター長：岩室紳也)



〈JIN スペシャル〉

医療者のための 伝えるプレゼンテーション

編：齊藤裕之／佐藤健一，発行：医学書院，TEL：03-3817-5657
定価：2730 円(本体 2600 円＋税 5%)

医療者は，学会発表や講義，カンファレンス，患者教育など，さまざまな場で，他者に対して説明や解説をする機会がある。本書は，医療者が正しく伝える技術としてのプレゼンテーションを 5 つのステップに分けて解説している。「目的を明確に」「設計図を描く」「媒体を作成する」「実施」「評価」の手順を，具体例を入れているので，1 頁目から順に読んでも，目次を見て気になる項目から読んでも，十分に活用できる内容である。さらに巻末には，「この本でもっとも伝えたかったこと」という本書のエッセンスの一言が紹介されているが，それはぜひ本書を買って読んでいただきたい。



変わる 変える 創る

これからの地域実践・運動・組織

編：やどかりの里 40 周年記念出版編集委員会，発行：やどかり出版
TEL：048-680-1891，定価：2100 円(本体 2000 円＋税 5%)

やどかりの里は，1970 年，精神障害のある人が地域で生活できることをめざして活動を始めた。試行錯誤を繰り返しながら，多くの人たちの工夫と努力で活動は進められ，さいたま市のなかで，さまざまな事業を展開する組織となった。本書は，やどかりの里が 30 周年を迎えた 2000 年から 10 年間の活動をまとめている。事業拡大とともに利用者も職員も増えたため，従来の組織運営では限界に達していたことから，新たな組織運営を模索し，人材養成を進めてきた。この 10 年間の歩みをとおりて，まちづくり，地域づくり，組織づくりのあり方を提言している。



大切な人の「こころの病」に気づく 今すぐできる問診票付

著：社団法人日本精神科看護技術協会／末安民生，発行：朝日新聞出版(朝日新書)
TEL：03-5540-7793，定価：777 円(本体 740 円＋税 5%)

代表的な疾患の特徴や，相談する際の Q&A，医療機関の情報などが具体的にまとめられおり，精神疾患に出会ったときに便利な 1 冊である。身近な人の「こころの病」に気づくにはどうすればよいのだろうか。また，「こころの病」に気づいたらどうすればいいのだろうか。そんなときのために，家族や同僚，部下，友人といった立場に応じて使える問診表がついている。新書ながら情報の質，量とも十分で，自宅の本棚に置いておく心安いのではないだろうか。